

2024年11月26日

日立のセキュリティ分野のエバンジェリストが執筆した書籍 「DXの核をなすデータの価値を最大限に引き出す」が発行 パーソナルデータ活用のヒントを事例とともに解説



株式会社日立製作所(以下、日立)において秘匿情報管理サービス「匿名バンク」^{*1}に関する事業を推進する、セキュリティ分野のエバンジェリスト佐藤恵一(以下、佐藤)の著書「DXの核をなすデータの価値を最大限に引き出す」が11月29日に株式会社インプレスより発行されます。

近年、あらゆる業界でさまざまなDXの取り組みが推進されています。DX推進にはデータ活用が重要であり、実世界を反映するデータの価値を最大限に引き出すことが、新たな事業やサービスの創出につながります。一方で、顧客情報などのパーソナルデータについては、扱い方に十分に配慮する必要があります。

著者の佐藤は、2009年に「匿名バンク」事業を立ち上げ、産業・金融・公共・ヘルスケアなど幅広い分野へ高セキュアなクラウドサービスを提供し、100社以上のお客さまのパーソナルデータ管理・活用やDXを支援してきました。

本書は、株式会社インプレスのWebメディア「DIGITAL X(デジタルクロス)」にて佐藤が連載していたコラムを書籍化したものです。これまでの佐藤の経験・知見をもとに、DXに取り組む事業部門の方に向け、ビジネスにパーソナルデータをどう活かし、データの価値を最大限引き出すか、考えるためのヒントや仕組みを事例とともに解説した一冊です。

^{*1}日立独自技術によりパーソナルデータを秘匿化・仮名化して、クラウド上で高セキュリティに管理可能な秘匿情報管理サービス
<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/app/tokumei/index.html>

<対象読者>

- ・ DX 関連プロジェクトを推進する事業部門のリーダー
- ・ 同プロジェクトに参画するメンバー など

<構成>

- 1章 データ活用のためのサイクルを確立する
- 2章 データ活用サイクル・ステップ 1：収集段階の取り組みと留意点
- 3章 収集したパーソナルデータ／個人情報の適切な扱い方
- 4章 データ活用サイクル・ステップ 2：蓄積段階の取り組みと留意点
- 5章 データ活用サイクル・ステップ 3：データが出す価値
- 6章 領域横断でのデータ活用サイクルの確立がデータの価値をさらに高める

書籍情報

- ・ 書名 : DX の核をなすデータの価値を最大限に引き出す
- ・ 著者 : 佐藤 恵一
- ・ 発行 : 株式会社インプレス
- ・ 価格 : 電子書籍版 500 円(税別)、印刷書籍版 800 円(税別)
- ・ 本文 : 44 ページ
- ・ 発行日 : 2024 年 11 月 29 日 (予約開始は 11 月 22 日)
- ・ 商品ページ : <https://nextpublishing.jp/isbn/9784295603405>

著者について

佐藤 恵一 (さとう けいいち)



株式会社日立製作所 公共システム事業部 パブリックセーフティ推進本部
パブリックセーフティ第二部 部長。2000 年 日立ソフトウェアエンジニア
リング株式会社 入社。2009 年大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻博
士後期課程修了。同年に秘匿情報管理サービス「匿名バンク」を事業化。産
業・金融・公共・ヘルスケア分野に高セキュアなクラウドサービスを展開。
2015 年日立製作所へ転属。2019 年一般社団法人情報処理学会業績賞受賞。
現在は「匿名バンク」事業推進を主として、公的機関や民間企業向けの IT コンサルティング業務などにも従事。
情報処理安全確保支援士。一般社団法人遺伝情報取扱協会理事。博士(工学)。

関連サイト

- ・ 秘匿情報管理サービス「匿名バンク」の Web サイト
<https://www.hitachi.co.jp/app/tokumei/index.html>

・「DIGITAL X(デジタルクロス)」の Web サイト

<https://dcross.impress.co.jp/>

Column「DXの核をなすデータの価値を最大限に引き出す」の Web ページ

<https://dcross.impress.co.jp/industry/column/column20240126/>

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 公共システム営業統括本部 カスタマ・リレーションズセンタ [担当：森下]

〒140-8512 東京都品川区南大井六丁目 23 番 1 号 日立大森ビル

<https://www.hitachi.co.jp/public-it-inq/>

以上